

我孫子市親子のありがとう集

～ うれしかった不登校対応事例 ～

不登校の子どもを持つ保護者の「うれしかった事例」をまとめました
私のうれしかったが、明日の誰かのうれしいにつながりますよう！



本冊子は Web サイトから PDF ファイルをダウンロードしてお使いいただけます



<https://drive.google.com/file/d/1kVxY2bMZYiS6CrDwkXnk-t5ckHqZ0udN/view?usp=sharing>

2022 年度

はじめに

文部科学省が公表した「問題行動・不登校調査」で、全国の小中学校で 2021 年度の不登校の児童生徒は前年度から4万8813人増の24万4940人となり、過去最多を記録しました。不登校の増加は9年連続で10年前と比較すると小学生は3.6倍、中学生は1.7倍の増加となりました。


我孫子市内にも200名を超える長欠児童・生徒がいます。欠席が年間30日未満でも毎日元気に登校することができない子どもたちもいます。そういったお子さんを持つ保護者が、学校の先生にってもらって嬉しかった事例を集め、冊子にしました。寄り添うような言葉かけだけでなく、ICT 活用事例もあります。ぜひ先生方が不登校児童・生徒の対応で困ったときに、この冊子を手にとり、参考にいただければと思います。すべて我孫子市内の事例です。いま隣に座っている先生の対応かもしれません。



検索して事例を探しましょう

事例ごとに検索タグ(#〇〇)を設定しています。PDF ファイルを使用される方は、「#小学校」「#高学年」「#漢字ドリル」「#卒業式」などを入力し、キーワード検索して気になる事例を探することができます。


先生向け不登校対応の困ったお助けツール

 千葉県教育委員会 子どもと親のサポートセンター

千葉県版不登校児童生徒の支援資料集

<https://cms2.chiba-c.ed.jp/kosapo/千葉県版不登校児童生徒の支援資料集/>




 千葉県教育委員会

合理的配慮事例集 ～小中学校の通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある児童生徒の事例を中心に～

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shien/tokubetsushien/gouritekihairyojireishuu.html>



 千葉県

千葉県版児童生徒・保護者のための不登校サポートガイド

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/seitoshidou/ijimemondai/documents/r4saortgaido.pdf>





目次


1	欠席連絡が Google フォームになった.....	3
2	オンラインで授業の様子を見られるようにしてくれた.....	3
3	Teams の鍵付きチャンネルで対話してくれた	4
4	休むことを肯定してくれた	4
5	朝の会が終わってから来ればいいんだよと肯定してくれた.....	5
6	子どもが登校しやすい選択肢を提案してくれた.....	5
7	「ダメ」「できない」と答えやすい問いかけをしてくれた	6
8	2週間に1回のペースで放課後に子どもの話を聴いてくれた.....	6
9	スクールカウンセラーや保健室の先生、小児科の先生と連携してくれた.....	7
10	電話でのコミュニケーションで、子どもと良い関係を築こうとしてくれた	8
11	読み書きが苦手な子のために選択穴埋め式のレジユメを作ってくれた.....	9
12	漢字学習を個別対応し、保健室より学びやすい環境を提案してくれた.....	10
13	楽しく学校に通えることを目標にした配慮をしてくれた	11
14	競技大会に挑戦できるよう個別対応してくれた	12
15	子どものペースに合わせて学校を楽しめるよう環境を整えてくれた	13
16	子どもの希望や今後について話し学校内に居場所を作ってくれた.....	14
17	教室に戻ることも子どものために日々創意工夫してくれた.....	15
18	教室に戻りたい気持ちと悩みを理解して環境を整えてくれた	16
19	職員室登校を楽しく過ごさせてくれた	16
20	校外学習で集団行動が辛くなったときに、先生が安心させてくれた.....	17
21	校外学習で添乗員さんが寄り添い安心させてくれた	18
22	校外学習でクラスが別の友だちと同じグループにしてくれた	19
23	修学旅行に参加できるように先生と一緒に考えてくれた	20
24	修学旅行で添乗員さんが子どもの苦手を理解して配慮してくれた.....	21
25	卒業アルバムの撮影参加について意思確認をしてくれた.....	22
26	卒業式どうする？と昨年度の動画をみせてくれた.....	22

1 欠席連絡が Google フォームになった

#小学校 #低学年 #欠席連絡 #ICT

  困っていたこと

毎日の欠席連絡の電話にストレスを感じ始めていた。



 うれしかった対応

Google フォームで欠席連絡できるようになった。


最初は、欠席は電話連絡だったのですが、Google フォームで欠席連絡できるようになりました。毎日の電話がストレスになりかけていたので、とても助かりました。

2 オンラインで授業の様子を見られるようにしてくれた

#小学校 #中学年 #オンライン #授業 #ICT #Teams

  困っていたこと

頭痛や吐き気で学校に行けず、クラスの友だちに会うのを避けるようになっていた。

 うれしかった対応

オンラインで授業の様子を見られるようにしてくれた。

学校に行こうとすると頭痛、吐き気がしてしまい、学校に行けなくなってしまい、休みが続いた事でクラスに入る事やクラスのお友達に会うのを避けるようになっていたが、担任の先生がオンラインで授業の様子を見られるようにして下さった。クラスの様子がわかり、勉強も家で緊張せずに出来たことで安心に繋がり、学校に行ってみようかなという気持ちが出てきた。



担任の先生が不登校を理解しようとしてくれているように感じて、具体的に出来る事を提案してくれて、子どもの事を考えてくれているように感じ、先生への信頼が少しずつ取り戻せそうな気がした。

今、毎日国算は teams でリアル授業を見ることは出来て、毎日国算理社の板書を写真で撮って teams で見れるようにしてくれています。授業も無理せず見れる時に teams に入ってくれたらいいよというスタンスです。




3 Teams の鍵付きチャンネルで対話してくれた

#小学校 #高学年 #ICT #Teams

  困っていたこと

・家族以外とのコミュニケーションの機会が少なかった。



 うれしかった対応

・先生が Teams を使って対話してくれた。


我が子は2年半ほど登校できていないのですが、支給されている PC の Teams アプリに、我が子と先生だけでやり取りができる、鍵付きのチャンネルを作ってください、我が子が関心のある趣味関係について、毎朝、先生が調べてくださり、我が子向けに、豆知識やクイズなどを半年近くも書いて下さいました。先生曰く、毎朝のルーチン化になっていて、先生自身も勉強になっているなど、前向きに捉えて下さり、多忙な中、感謝の気持ちです。

4 休むことを肯定してくれた

#小学校 #低学年 #コミュニケーション #行きしぶり

  困っていたこと

学校に行けないことを、先生にどう伝えたらいいか悩んでいた。

 うれしかった対応



休むことを肯定的に受け止め、話を聞いてくれた。

学校に行けなくなり始めた時、「体調がずっと悪くて…」と先生に伝えたら、「疲れちゃう時あるよね。きちんと休んでね！」と、休むことを肯定してくれて嬉しかったです。


行けない日が続いて、宿題をとりに行ったときなども、特に理由を先生が聞いてくることはなく、私が伝えたら「そうなんですネ。。。』とただ聞いてくれました。ただ話を聞いてくれることが嬉しく思いました。

5 朝の会が終わってから来ればいいんだよと肯定してくれた

#小学校 #低学年 #感覚過敏 #行き渋り

  困っていたこと

朝の会の一斉「おはようございます！」がうるさくて嫌だと行き渋りの理由の一つにあがっていた。

 うれしかった対応

子どもが嫌だと言うことを肯定的に受け止めてくれた。

1年で行き渋りが始まったころ、ただただ、行きたくないな、となって、だんだん遅刻が多くなって、どんどん登校時間が遅くなっていました。

いくつか要因はあったのですが、感覚過敏の我が子には教室の環境やお友達関係に非常に辛いものがあったようで、「朝の会の、皆で言う〈おはようございます！〉がうるさくて嫌」と言い、それが学校に行きたくないの一つの原因であること、を担当の先生にお伝えしました。

その時の担任の先生の一言が衝撃的で『それがいやだったのか！なんだ、そうか。声がうるさかったんだね。朝の会なんて大事じゃないから、いいよ、朝の会終わってから来ればいいんだよ！』と。



他にも兄弟に不登校児がおりますが、〈学校に来る方向〉にお話しされる先生が殆どな中、このような対応を、スツと、してくださる先生は初めてで驚きました。

これ以前、子どもは日に日に登校時間が遅くなっていましたが、先生のこの言葉で、1時間目から行けるようになった時期もありました。何より、担任の先生への安心感が増していました。進級した現在も担任は変わりましたが子供はその先生が大好きです。そして「朝の会なんて大事じゃないから来なくて大丈夫！」


は今でも神対応として心に残っています。

6 子どもが登校しやすい選択肢を提案してくれた

#小学校 #低学年 #登校時間 #支援級

  困っていたこと

学校で友だちと顔を合わせたり、人数が多い教室で過ごすのが難しくなった。

 うれしかった対応



登校時間をずらすことを快諾してくれた。
支援級の利用を提案してくれた。

時々、「心の相談室」なら行けていたのですが、子どもが友達と顔を合わすのが無理になっていたのも、登校時間をみんなとずらしてもいいですか？と聞いたら「もちろん。〇〇ちゃんの来やすい方法を優先していいよ。」と快諾してくれて、助かりました。


人数が多い教室が無理になってきていたので、先生に相談したら、支援級の利用を提案してくれました。できる範囲で、学校で対応可能な選択を示してくれて嬉しかったです。(結局、行けていませんが。)

7 「ダメ」「できない」と答えやすい問いかけをしてくれた

#小学校 #高学年 #面談 #クローズドクエスチョン

  **困っていたこと**

「ダメ」「できない」というネガティブな言葉を伝えるのが苦手だった。



 **うれしかった対応**

面談で「大丈夫そう？ダメそう？」とクローズドクエスチョンで聞いてくれ、「ダメ」と答えやすくしてくれた。


担任と面談する際に、担任が子どもに「大丈夫そう？ダメそう？」とクローズドクエスチョンで聞いてくれたこと。大丈夫？と聞かれると、つい『うん大丈夫』って言っちゃうけど、ダメそう？という選択肢を提案してくれると、ダメを選んでもいいんだと。できないと言っていいんだと、本人がわかるんだな。と思いました。本人は、ダメ できないをネガティブなことと思っているようなので、担任からの提案はとてもよかったみたいです。そして、必ず 元気が出てやれそうと思ったら 言ってね。と付け加えてくれたこと。家でもクローズドクエスチョン実践しています。ありがとうございました。

8 2週間に1回のペースで放課後に子どもの話を聴いてくれた

#小学校 #高学年

  **困っていたこと**

・対面でお手紙を受け取る際の会話に困っていた。

 **うれしかった対応**

・子どもが楽しいと思っている事を話せる場にしてくれた。

我が子は2年半ほど不登校なのですが、2週間に1回くらい、放課後、学校に手紙を取りに行く際、担任の先生と会っています。事前に「最近楽しい事ありましたか？とだけ聞いて頂けますか」とお願いしている事もあり、毎回、子どもが今、夢中になっているゲームの事など、スマホを見せながら話したい事を話せる場にして頂けていて、先生は関心を持って聞く側に徹して下さり、子どもは毎回、楽しい時間を過ごさせて頂いています。その際、偶然、校長先生の帰宅時、気付いて声をかけて下さり、校長先生も、我が子の話に興味を持って聞いてくださったり質問して下さり、我が子は「校長先生も聞いてくれて嬉しかった」と話していました。先生には、多忙な中お時間を頂き、感謝の気持ちです。

9 スクールカウンセラーや保健室の先生、小児科の先生と連携してくれた

#小学校 #低学年 #心因性頻尿 #トイレ #スクールカウンセラー #保健室 #小児科



困っていたこと

心因性頻尿になり、学校に行けなくなり、外出もできなくなった。



うれしかった対応

担任の先生だけでなく、スクールカウンセラーや保健室の先生、小児科の先生が連携して対応してくれた。

小学1年生の11月に突然心因性頻尿になりました。最初は授業中、家の中、帰る前に執拗にトイレに行くようになりました。帰り道も不安がるようになってから、パニックにもなりやすくなり、あれよあれよと言う間に年末には家から出られなくなりました。

身体に悪いからお散歩だけでもと誘っても、家を出る前に5回以上トイレに行き、エレベーターに乗って降りている間に「トイレ！！」と泣き叫ぶので、キャンピングカーを借りないと外出できないかもしれないと、本人はもちろん親としても困り果てていました。

その頃は担任の先生にしか相談する先が分からなかったのですが、スクールカウンセラーの先生や保健室の先生とも話を繋げて下さいました。そこから保健室の先生が、同じように心因性頻尿の対応で頼れるとても良い小児科の先生をご紹介頂きました。

その小児科の先生のお陰で3月には心因性頻尿もかなり改善して、1年生の最後の3日間だけは登校することもできました。保健室の先生が、教室まで様子を見に来て下さり、お友達に囲まれて笑っている我が子を見て、私と一緒に泣いてくれて、とてもありがたかったです。

今も登校は不安定ですが、子どもにもいつも優しく話しかけてくださり、安心して話せる先生の一人となってくださっていることが救いです。



10 電話でのコミュニケーションで、子どもと良い関係を築こうとしてくれた

#小学校 #低学年 #友だち #電話



困っていたこと

ほぼ学校に行けてなかったのですが、学校の先生やお友だちとの関係をどうすればよいか考えていた。



うれしかった対応

電話で子どもに学校の様子をシェアしてくれるなど良い関係を築こうとしてくれた。

1年生の冬にほぼ学校に行けなかった我が子。2年生の時にお世話になる担任の先生が「学校にどんなことを望まれていますか??」と聞いてくださいました。

私は「勉強は家でも出来るので、お友達と楽しい時間が過ごせると嬉しいです。」と伝えさせていただきました。また先生との信頼関係も作ってほしかったので、先生のお時間が許すなら時々電話で話していただくとありがたいともお伝えしました。

学校に行っていない期間の良いタイミングで、子どもに電話で「今度こういうことしようと思うんだよね。興味あるかな??」と誘ってくださいました。電話が負担になりそうだなと感じる期間は、先生にもそう伝えて、良い距離を取っていただきました。

ただ、自分のペースではなく、少し無理をして参加していたので、イベント自体は楽しみつつも、そのあとの反動は大きかったです。今にしてみると私の希望自体が、うちの子には合っていなかったのかもしれない(非日常より落ち着いた日常を過ごさせてあげた方が安定したのかな)と思ったのですが、その頃はダンスだったり、お祭りだったり、お友達と楽しめているように見えたので、そんな時間をお忙しい中で共有しようとしてくださった先生に感謝しています。

子どもにとって良い思い出になっていたらいいなと思います。

11 読み書きが苦手な子のために選択穴埋め式のレジユメを作ってくれた

#小学校 #高学年 #LD #読み書き困難 #ノートテイク #理科 #実験



困っていたこと

書くことが苦手でノートテイクに苦労していた。



うれしかった対応

読み書きが苦手な子のために理科の実験結果をまとめる選択穴埋め式のしたレジユメを作ってくれた。

○先生とのノート

LD(読み書き困難)の子どもです。書くことが苦手で教室で皆に合わせてノートテイクを頑張っていた時期は書き終わる前に黒板は消されてゆき、休み時間も間に合わなかったノートに向かい、気づいてあげることが遅かったので苦しい時間を過ごしていたと思います。それも理由の一つとなり学校では生きづらくなって不登校になりました。

不登校中、教室には入れませんでした。相談室でサポーターの先生との学習することができていた時期がありました。理科の実験を行ってくださったときはLDがあつてノートテイクが苦手な子どものために実験結果を選択穴埋め式にほんの少し書くことで記録できるレジユメを個別に用意してくださいました。

その先生との学習が楽しみになり、相談室へ学習をしに通うことができるようになりました。子どもにとってはノートテイクの苦しみから解放されたこともよかったのですが、先生が自分の苦手を理解して寄り添ってくれたことが響いたのではないかと感じました。

残念ながらそのサポーターの先生は任期満了で異動されてしまいましたが、その個別のレジユメは今でも合理的配慮をお願いする際のよい見本として、(このようにしていただけないか?の具体例)今後関わって行く先生方にお見せしています。



12 漢字学習を個別対応し、保健室より学びやすい環境を提案してくれた

#小学校 #低学年 #漢字ドリル #国語 #音読 #過敏 #保健室 #支援級



困っていたこと

漢字ドリルの複数回書いて定着を図る学習法が合わず苦手意識が増していた。
国語の音読が耳に辛く保健室へ退避していた。



うれしかった対応

漢字の学習方法を個別対応してくれた。
保健室よりも学ぶことができる支援級での学習をすすめてくれた。

『漢字ノート』

発達に凸凹がある我が子は、特段目立った特性は見られませんでしたので学校とも相談して普通級に在籍していました。

苦手なことがある一方で漢字や語彙の習得にはとても秀でていましたので、漢字ドリルで複数回書くことで定着を図る学習法が合わず、苦手意識が増していました。字の学習は好きなのに国語の時間はみんなで声を合わせる音読などが過敏な耳にはとても辛く、漢字や語彙など知識が多かったので、授業がつまらないともよく言っていて、保健室へ退避することが多くなっていきました。

そこに対して担任の先生は、漢字学習に関しては、複数書かなくても覚えてしまえるので、皆と同じ学習方法ではなく、個別にノートを手書きしてくださって 3 回ほど書いたら終わり、という方法にしてくださり、先取りで、どんどん先の学年にドリルを進めてくださいました。毎日、ドリルの代わりに課題をノートに書いてくださっていたのはお手間だったと思います。

このやり方が我が子には合っていたので、やりたがらなくなっていた漢ドですが楽しく進められるようになりました。学習方法がフィットした事に加えて、先生にノートをかいてもらっていたのも、見守ってもらっているようでなんとなく安心できたのかもしれないと思っています。(保健室に退避するとそれだけクラスのみなどと離れて疎外感もあったようなので)

また、能力があるのに保健室でただただ課題をこなすだけなのはもったいない、と個別対応できる支援クラスを勧めてくださいました。現在は支援クラスに移動し、漢字ドリルは1つ上の学年のものまで進めていただいたりもしていて、教科によっては先取りで対応もしていただけています。本人は楽になったと言っています。

13 楽しく学校に通えることを目標にした配慮をしてくれた

#小学校 #低学年 #発言 #漢字 #漢字ドリル #席 #宿題 #連絡帳 #Teams #ICT



困っていたこと

手をあげて発言するのが苦手、連絡帳が時間内に書けないなど困り感があり、学校を休みたいと言い出した。



うれしかった対応

「楽しく学校に通える事」を目標に、夏休みの宿題や毎日の学習方法を個別に配慮してくれた。

我が子(普通級)は、夏休み前に 2 週間ほど、学校を休みました。「学校休みたい」と言い、休むに至りました。低学年なので、言語化して説明するのも、まだまだ難しく、何に困っているのか、どうしたらいいのか、このまま不登校になってしまうのかどうか、、、など、色々不安でわからない事が多くありましたが、信頼している先輩に相談したところ、我が子の困り感を見極めてくれました。

夏休み前の学校面談では、先輩のアドバイスのもと、学年主任の先生にも同席していただき、担任の先生(若い先生)と学年主任の先生、私(母親)と、先輩も同席(事前に学校には同席の旨、承諾頂き済み)して下さり、4 人で面談を行いました。

先輩とは、面談の事前に打合せしました。面談では、それぞれが意見や気持ちを伝え合うなか、先輩の提案が素晴らしく、先生にも共感をいただき、合意をえる事ができました。細かな事も確認しあい合意をとり、最終的には「楽しく学校に通える事」を当面の目標に掲げる事になりました。結果として我が子は、夏休み明けから、今のところ休まず通っています。

我が子は、あからさまな特別配慮は、恥ずかしく嫌に感じる可能性があるため、特別感を出さないようにして頂ければとお願いしました。また、手を挙げて発言する事などが極端に苦手なため、授業中など指さないでいただける事になりました。

座席は、真ん中付近は緊張してしまうため、本人の希望も踏まえ、後ろの方などにしてもらえる事になりました。また、隣の子に相談したり話せたりするような感じにしてもらえる事になりました。

夏休みの宿題はできる範囲で良いとの事で、ワークは数ページのみで提出。見た目でわかってしまう工作などは提出しました。

夏休み明け、漢字ドリルは、1 文字に対して 1 回書ければ OK など書く量を減らす事になりました。漢字テストは点数を書かないで、出来たところの中で褒めるところについて、一言書いて頂く事になりました。たとえ名前が書けただけでも OK となりました。

連絡帳は、時間内に書けなくても OK で、支給された PC の Teams アプリに、概ね、毎日先生が書き込んでくださっています。(学校をお休みした他の生徒さんにも役立っているようです)

先生の配慮で、授業の黒板の写メを Teams にアップして下さる事もあります。(学校をお休みした他の生徒さんにも役立っているようです)

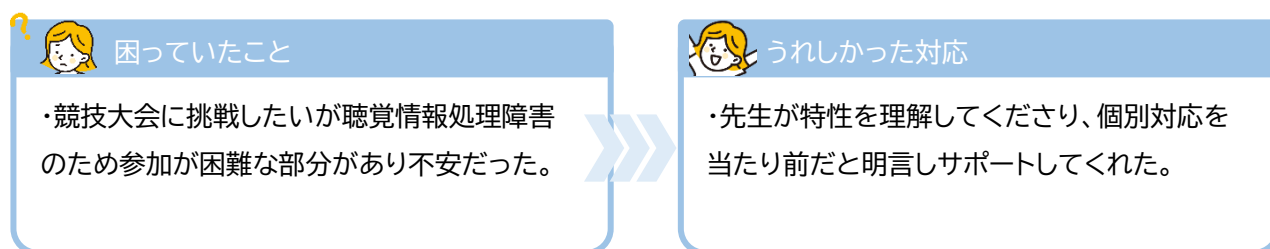
先生が、2 週間に 1 回くらい、連絡帳に、ハートの付箋?を付けて、我が子の素敵ところを一言、書いてくださっています。先生にお聞



きしたところ、生徒さん全員に書かれているとの事でした。1人1人の褒めるところを、見つけて書いてくださっているようで、ご多忙中、本当に感謝しています。我が子も、先生のポジティブな対応を肌で感じているからこそ、毎日通えているのかなとも思います。我が子は、学校ではできる範囲で頑張っているようで、電話をした時などは「いつも頑張っていますよ」とお褒めの言葉を頂き、私も先生に感謝の言葉を伝えていきます。

14 競技大会に挑戦できるよう個別対応してくれた

#小学校 #高学年 #APD #聴覚情報処理 #学習障害 #感覚過敏



感覚過敏や学習障害が原因で学校では生きづらい我が家の子どもは、習い事で通っている施設で、ある競技大会に出場する際、どうしても不安なことがあり、先生方に相談しました。

その競技は、当日、障害物のコース説明がありそこをいかに速くゴールできるか？というもので、レース参加者50名ほどがレース直前に一緒にコースを回りながら説明を聞く(コース内は子どものみ入り保護者はNG)、のですが、我が子はAPD(聴覚情報処理障害)のために、50人もの子どもたちと一緒にいたらそのざわめきの中では説明が全く聞こえないであろうことが不安でした。障害のこと、日常生活で困ることを前もって先生方に子どもとお話したところ、「大会中どんなに忙しくても、コース説明の時には必ず誰か職員が〇〇さんの側について一緒に説明をうけるようにするよ!」と約束してくださいました。子どもはその大会にエントリーはしていましたが直前まで出場を迷っていたのですが、その約束がとても安心材料になり大会にチャレンジすることが出来ました。

コース説明の際、保護者は立ち入り禁止、子どもだけで聞く、というルールの中、先生が配慮するよ、と約束して下さったときに「〇〇さん、鼻負していいかな? いい? そのヒイキは当たり前だから! ひいきさせてもらうよ! 当たりのことだもの!」と声掛けして下さったのが保護者にとってはとても印象的でした。大会に参加してみようと決断したこと、そこから不安を先生に打ち明けられたこと、本人の頑張りも素晴らしかったと思いますが、その裏に、先生方が打ち明けられるような、相談できるような関わり方をしてくださっていたこと、に心から感謝していますし、あまり聞きなれないAPDですが特性を理解しようと本を読んでくださったこと、寄り添ってくださっていることが、保護者にとって、ありがとうございます! では言い表せないほど嬉しかったです。

無事、大会に出場し、確実に成長した子どもは、来年もチャレンジしたいと今もその習い事を続けています。

15 子どものペースに合わせて学校を楽しめるよう環境を整えてくれた

#小学校 #中学年 #楽しめる #環境作り



困っていたこと

人の多いところが苦手で、教室を避けていた。



うれしかった対応

電話でのコミュニケーションをとり、
子どものペースに合わせて、学校を楽しめる
ように環境を整えてくれた。

小1から気まぐれ登校だった我が子ですが、小3には「人が多いところは苦手」とウイスクの検査結果でも出たこともあり、教室を避けるようになりました。

進級時には担任の先生にもしっかり引き継いで頂いたようで、「無理せずお子さんのペースで。」と話してくださいました。放課後や振替休日などの日に教室でお時間を頂いたり、時々電話で負担にならないように「会えるの楽しみにしているね」と話してくださいました。

担当医から特別支援学級を進められると、すぐに支援学級の先生と合わせてくださり、見学もさせて貰えました。

支援学級の先生も「何も無理強いしません。お子さんのペースで待ってます。」と言ってくださり、子どもも学校に気負わずに行きたいとき行けるようになりました。



勉強よりも学校の環境を楽しめるようお願いしているので、ぬり絵や、支援学級のクラスの子とオセロをしたり、他の子とのコミュニケーションをする時間をさりげなくほんの少しずつ促してくださっていました。

本当にありがたい環境だと思います。


それでも気候などで行けない日もまだまだありますが、学校にたいして嫌なイメージ無く過ごせるようになったのは先生方の決め細やかな一つ一つの声掛けのお陰です。

16 子どもの希望や今後について話し学校内に居場所を作ってくれた

#小学校 #中学年 #行きしぶり #保健室 #言葉の教室 #部活 #居場所

  **困っていたこと**

行きしぶりが始まり、休みが続いていた。

 **うれしかった対応**

子どもの希望や今後について前向きに話す機会を設けてくれた。
学校内に居場所を作ってくれた。

行きしぶりが始まり、休みが続いた時に、安心して休ませていただけました。

その後、子どもと関わりがありそうな先生方(担任の先生、相談員さん、支援級の先生、保健の先生、言葉の先生)と、子どもの希望について、今後について話す機会を前向きにもうけていただけました。

子どもの希望を叶えるにはどうしたらいいか、一緒に考えていただけたことで、私もとても気持ちが楽になりました。

その後、安心して保健室や言葉の教室ですごせるようになりました。

子どもの希望としては、今は保健室ですごしたい、言葉の教室に居場所(荷物を置く場所、好きな時に静かにすごせる場、お友達と子どもと交流ができる場)を作ってもらいたい、教室には戻る気は今はないので戻すような声かけはしないでほしいこと、部活を辞めるか迷っているけど自分のタイミングで決断するまで待つしてほしいこと、など、このような希望を前向きに捉えていただき、都度、早急に対応していただけたので、人間不信や学校ぎらいにならず、お友達との交流も途絶えずに今に至ります。

翌年に校内教育支援センターを設置していただけたことで、自分と同じ考え方や感覚のお友達と安心して居られる場もでき、学校に居場所があるとゆうことで、家の外でも自分らしくいてもいいこと、自分の居場所はちゃんとここにもある、と自分の生き方や選択に自信が持てたようです。
お陰様で嫌なことがあっても過度にストレスを抱えることはなくなりました。

はじめはフリースクールも視野に入れていましたが、今までのお友達との関係が保てたことや、先生方の理解ある対応のお陰様で、環境を大きく変えることなく、前向きに外の世界との繋がりが持っています。
本当にいつもありがとうございます。

17 教室に戻ることも子どものために日々創意工夫してくれた

#小学校 #高学年 #保健室 #起立性調節障害 #工作 #交換日記 #部活 #居場所



困っていたこと

行き渋りをしながら、保健室登校をしていた。



うれしかった対応

どうしたら教室に戻れるかよりも、何が我が子にとって良いかを考え、保健室の先生をはじめに先生方が対応してくれた

小学5年～6年の保健室登校をしていた時の話です。養護の先生が、教室へ行く事を強要せず、常に温かく見守ってくれました。子どもの様子を見て、音楽や図工などの授業に出てみる？と背中を程よく押してくれた時もありました。絵を描いたり工作するのが好きなので、保健室の掲示物の飾り作りを一緒に作ったり、起立性の本を読んで勉強して下さって、軽い運動を一緒にしてくれたり。

担任の先生や心の相談室の先生も交えて、三者面談を設けて下さり、どうしたら教室に戻れるかというよりも、何が子どもにとって良いのかを常に考えて下さった先生でした。行き渋った時も、オリジナルのスタンプカードを作って、来ると楽しい事があるよと興味を引く様な事もして下さいました。

何より嬉しかったのは、交換日記でした。書くのが負担にならない様に、毎日ではなく適度に交換してくれて、時にはお互いに質問したい事(休みの日は何してる？自分にとって無くては困る物は？欲しい物ベスト5)などを書き合ったり。ただ書くだけではなく、子が書いた事に対しての感想や先生だったらこう思うとかを書いて返してくれました。

常にアイデアや工夫を盛り込み、先生の愛情を感じました。また、子どもだけでなく、忙しい中、私とも交換日記をして下さって、その日あった事、出来た事出来なかった事、悩み相談に至るまで、可能な限り書いて下さって有り難かったです。

養護の先生だけでなく、担任の先生をはじめ、手の空いた先生が様子を見に来てくれて(時には校長先生まで)、ちょっとした授業をしてくれたり、絵心対決をしてくれたり、放課後も子どもの体調が良い時は、担任の先生が勉強を見てくれた時もありました。職員室で、勉強を見てもらうという特別感を味わわせてもらった事もあった様です。

(6年生になると、教室に行けない我が子の為に、保健室に専用の机と椅子が出来ていました。)



相談室の先生も、(私が仕事で不在時。事前確認した上で)休みが続いた時、子どもが出る出ないに関わらず電話をかけてくれて、応じた時には家にまで迎えに来てくれて、一緒に登校してくれた時もありました。

吹奏楽部に5年生まで在籍していて、5年生になると殆ど練習には行けなかったけれど、イベントや市内音楽コンクールなどには出たいと言う我が子。その都度顧問の先生と話し合い、先生から部員の皆さんに説明をしてくれて、子どもの理不尽な思いにも応えてくれました。


まだまだ私の知らない事もあったかと思えます。関わって下さった全ての先生方、本当にお世話になりました。有難うございました。

18 教室に戻りたい気持ちと悩みを理解して環境を整えてくれた

#小学校 #高学年 #教室 #友だち #座席

  困っていたこと

教室へ戻りたいのに、戻ったら周りに注目されて色々聞かれたり、囲まれるのが嫌で戻れなかった。

 うれしかった対応

子どもの悩みを理解してくれ、クラスの子たちと一緒に教室に戻りやすい環境を整えてくれた。



我が子は、不登校(引きこもり)から職員室登校、教室へ登校と段階を踏んで学校へ戻っていったのですが、教室へ戻る際、子どもが「友だちに囲まれたくない」とつぶやいたことがありました。特別扱いされ、どうして学校に来なかったのかを聞かれたくなかったようでした。

担任の先生がその気持ちを汲んでくれ、クラスの皆にうまく伝えてくださいました。どう伝えたのかはわかりませんが、子どもは落ち着いて教室に戻っていきました。以前から仲の良い子が近く、一番後ろのみんなの様子が見渡せる席に配置してくれたのも希望通りでした。


どんな戻り方、どんな座席がいいかはお子さんによって違ってくると思いますが。子どもの気持ちを汲み取ろうと、話を聞いて寄り添ってくれた先生に感謝しています。ありがとうございました。

19 職員室登校を楽しく過ごさせてくれた

#小学校 #高学年 #職員室 #居場所

  困っていたこと

学校へ行く気力が湧かず、職員室にやっといけた。

 うれしかった対応



自習やたまったテストをするだけでなく、おしゃべりやお手伝いなど楽しく過ごさせてくれた。

職員室登校をしていたときに、自習や溜まったテストをするだけでなく、時間の空いた先生方が声をかけておしゃべりしてくれたのが嬉しかったようです。帰ってくると、学校内の補修の手伝いをしたことや職員室での先生方の楽しいやりとり混ぜてもらったことをうれしそうに話してくれました。


初めは保健室が安心して過ごせる場所だったのが、職員室になり、教室へと戻れたのは、その場その場で子どもの居場所を作ってくださった先生方のおかげです。ありがとうございました。

20 校外学習で集団行動が辛くなったときに、先生が安心させてくれた

#小学校 #高学年 #生活科 #社会科見学 #校外学習

  **困っていたこと**

生活科の見学に参加したが、集団に入ること
に抵抗があり、途中で断念しそうになった。

 **うれしかった対応**

身体のかな先生が「先生の後ろに隠れると
いいよ」と言って、安心させてくれた。

ここに隠れるといいよ

不登校だった我が子ですが、3年生の時の生活科のスーパーマーケット見学には「できれば参加したい」という事で、保護者が現地へ連れていき、同行する形で参加させていただきました。集団に入ることにはとても抵抗があったのですが、スーパーマーケット側の都合もあるのももちろん個別に見学するわけにはいかず、集団の最後尾に、離れずくっついて行かないとならない状況でしたが、やはり、それは本人にはとても厳しく、当日、断念せざるを得ないか？と想着ていましたが、その時、担任ではなく思いもよらない先生がご対応くださいました。

同行してくださっていた教頭先生が子どもに「こっちおいで～、はやくはやく。みんな行っちゃうよ、先生の後ろにいたらみんなからは見えないから。大丈夫。」と声をかけてくださって。とても背の高い大柄な先生でしたので本当に隠れられて。一通りバックヤードを見学することが出来ました。

大きな背中に隠してもらったこと、とっさの対応、子どもにはドキドキで不安いっぱい校外学習の中で安心感がある対応だったのだと思います。子どもにとって学校には信頼できる先生が殆どいらっしゃらない中で、この対応をしていただいて以来、子どもの教頭先生への信頼感、安心感は増していきました。教頭先生は残念ながら退職されましたが、学習サポーターとして復帰された際には「教頭先生に会いたい」と、殆ど登校できていなかったのに、相談室で元教頭先生と学習するために登校することができるようになりました。

保護者としても、社会科見学に保護者も同伴しましたが先生が対応くださったことが、子どもと学校のつながりが感じられて安心につながりました。

21 校外学習で添乗員さんが寄り添い安心させてくれた

#小学校 #高学年 #校外学習 #寄り添い



感覚過敏で学校生活に行きづらさを感じ、殆ど学校へ行けなくなっている子どもが参加したいとのことで、保護者同伴、移動はバス利用なし、で参加した時のこと。

博物館見学(班行動)の後、公園へ徒歩移動し各自シートを広げてお弁当という流れでした。博物館見学で班行動に参加したことで子どもはかなり精神的に消耗していました。公園への徒歩移動中、他の学校とも列が近く、おしゃべりの声でかなりザワザワしていて耐えきれなくなり、クラスの列を離れてクールダウンすることにしました。子どもが落ち着いてから、皆のところでお弁当が食べられるか？または離れた場所で休憩するか？決めようと皆の様子を確認しに行ったところ、皆はすでにお弁当タイムになっていました。

そんな中、添乗員さんは食べずに待っていてくれて、『〇〇さん、お昼どうしますか？あっちの静かな東家でたべてもいいですよ。ここにしますか？』と声をかけてくれて、『みんながいる場所で食べる』と決めたところ、『私もまだなので、ここにシート広げてもいいですか？一緒に食べていいですか？』と。「〇〇さんと一緒に食べられてうれしいです」とも。子どもにも寄り添ってくれているのが伝わって、子どもは添乗員さんに安心感を感じ、とても信頼していました。

寄り添ってくれる方がいたおかげで、昼食後の国会議事堂見学もなんとか参加することが出来ました。それが無かったら、もしかするとお昼を食べることもできず途中棄権もあったかもしれないと思います。同行の先生方は子どもたちの見守りと予期せぬトラブル対応で校外学習ではとてもお忙しいことと思いますので、一人の児童ばかりに注意を払うのは難しいと思いますし、不登校児がそこに参加することで気配りすることも多くなり本当に大変だと思います。そのような状況で、こうした気配りをしてくださる学校職員以外の方がいてくれたこと、保護者としてもとても心強かったです。

22 校外学習でクラスが別の友だちと同じグループにしてくれた

#小学校 #高学年 #校外学習 #友だち



困っていたこと

・校外学習に参加したいが、参加できるか不安だった。



うれしかった対応

・クラスが別だったにも関わらず、子どもが心を許している友だちと同じグループにしてくれた。

学校には2年半ほど登校していませんが、今回の校外学習には我が子が強く関心のある場所が含まれていて、現地までの往復は母同伴で行き、現地集合・現地解散で、参加させて頂く事ができました。また、現地ではグループ行動があり、事前に我が子が心許している友達など、希望のメンバーを挙げさせていただいたところ、別のクラスだったにも関わらず、ほぼ希望通りのメンバーとグループ行動を共にする事ができ、我が子も、とても楽しかったようで、貴重な思い出を作らせて頂きました。先生のご配慮や、友達の変わらぬ優しさに涙。ただただ感謝しています。



23 修学旅行に参加できるよう先生と一緒に考えてくれた

#小学校 #高学年 #修学旅行 #聞こえの困り



困っていたこと

子どもが修学旅行に行きたいことを伝えたが聞こえの困りがあるため、心配なことが沢山あった。



うれしかった対応

全旅程の困りそうな箇所について、一緒に考え、どうしたら良いかの選択肢を提示してくれた。

修学旅行には行きたいと本人が考え、親が担任に伝えました。担任は、まずスケジュールを見せてくれ「心配なところに○をつけてね。」と言われて、つけました。まるをつけたところの何が心配か、話を聞いてくれました。聞こえないことでの困りそうな箇所をいくつもピックアップしました。「全部の行程参加」「部分参加」「お母さんも参加」と選択肢をつくってくれました。

困りそうな部分に関して(バスの席や班行動など)一つひとつ先生が出来そうなこと先生ができないことできなかった場合の選択肢を提示してくれました。

本人が納得して、これなら参加できる。ここは、無理そうだと選択できたことで日光の修学旅行全行程に参加できました。

我が子が担任をかなり独占する形になってしまい、担任の仕事を学校全体で割り振ってもらったのではないかと想像します。校長先生はじめ、修学旅行に関わった全ての職員にお礼を言いたいです。ありがとうございました。

24 修学旅行で添乗員さんが子どもの苦手を理解して配慮してくれた

#小学校 #高学年 #修学旅行



困っていたこと

・修学旅行に参加したいけど、みんなと同じ旅程をこなすことに不安があった。



うれしかった対応

・訪問場所ごとに見学に参加するかどうかいつまでに判断すればよいか見通しをもって考えさせてくれた。

小3から不登校(発達障害やいじめが原因)6年になってからは殆ど学校へは行けていなかった子どもです。5年のとき林間学校も参加できませんでした。修学旅行は即答で「行かない」と言うつもりでしたが、「行けるのならいきたい」と意思表示できたので、学校とも何度もうち合わせさせていただいて、保護者同伴、自家用車移動で所要所の参加をお願いしました。

もちろん、打ち合わせの段階でいろいろな配慮を申請したことに対して都度ご検討くださった学校にも感謝していますが、ここでは当日の添乗員の方、担当の旅行会社の方へのありがとうを、紹介させていただきたいです。

自家用車を保護者一人で運転、初めて行く場所でしたし、駐車ポイントなども確認すべきと思っていましたので、出発前、旅行会社の方とも直接打ち合わせをさせていただきました。団体の中に、バスでなく個別に自家用車で参加する事でご迷惑をおかけして申し訳ない気持ちだったのですが、各見学地でのバスの降車ポイントと、自家用車の駐車ポイントなどはそれぞれ地図をくださってわかりやすく説明してくださり、現地までの高速道路の通常の混雑状況や、休憩するならこのサービスエリアだと学校の休憩と会わずに済む、など本当に細かく丁寧に教えてくださりました。



また、当日の添乗員の方は、配慮が素晴らしく、各見学地、もちろん参加したいのだけれども、その場になってみないと皆の中に参加できるか？わからない状態でしたところ、都度、「次は〇〇ですが、どうしますか？」と聞いてくださいました。大人が『すぐ決めてください！』となりがちななか、添乗員さんは『今すぐでなくても大丈夫ですよ。〇〇のところまで移動しますので、あと〇〇分あります。その間考えてくださいね』と、不安いっぱいになっている子どもに見通しを与えてくださっていて、本当に助かりました。

日光、戦場ヶ原ハイキングでは、戦場ヶ原を歩いてみたいのだけれども、全行程約2時間を皆と共に散策することができるか？不安でいましたところ、『30分くらいで周れるコースがあるので、それはどう？』と提案してくださって、地図までくださって、そのおかげで、保護者との行動ではありましたが、戦場ヶ原を歩いてみたいという希望はかなえられ、皆と歩いて2時間に参加できない自分と、歩いてみたい自分と、戦って苦しくなっていた子どもも楽になれて、本当に感謝でした。現地の観光コースのことなど先生方ではわかりえない、のは当然ですし、ここで、もしも保護者が学校の先生任せにしていいたら、このようには着地できなかったらと思います。


学校にだけでなく、添乗の方にも苦手なこと、配慮が必要なことを事前にお伝えしておけたことで、良い結果になったとも思いますし、なにより、それに応えてくださった学校以外の方々にも非常に感謝しています。後日、字を書くことが苦手な子どもですが、添乗員さんにお礼のメッセージを自発的に書いて、旅行会社へお礼を言いに出かけました。

25 卒業アルバムの撮影参加について意思確認をしてくれた

#小学校 #高学年 #卒業アルバム

  困っていたこと

卒業アルバムの撮影をどうすればいいか考えていた。



 うれしかった対応

卒業アルバムの撮影参加や購入について、意志を確認してくれた。


卒業アルバムについて、撮影に参加したいかどうか？早めに意志を確認してくれました。子どもと相談して、撮影には参加しませんでした。卒業アルバムも購入しなかったので、代金を返金してもらいました。学校側から早い段階でお話しをもらえたので、子どもとも時間をかけて相談することができました。

26 卒業式どうする？と昨年度の動画をみせてくれた

#小学校 #高学年 #卒業式

  困っていたこと

卒業式の参加について話すきっかけがなかった

 うれしかった対応

昨年の卒業式の動画をみせてくれ、参加するかどうか考えさせてくれた。

卒業式のことで、担任から、卒業式がどんなものか見たことないだろうから、昨年の動画を見ってみる？と提案がありました。(学校のタブレットに 学校長が動画を入れてくれたようでした。)

学校のタブレットをお借りして、卒業式動画を自宅で再生しました。本人は、関心がなかったのか、ちらっとみるだけでした。担任は、参加する場合 参加しない場合 式が終わって、外に出てきてからみんなと会えることも手紙で教えてくれたので、

「式には参加しないけど、袴を着てみたい。仲の良かった友達と一緒に写真を撮りたい。」

と決めることができました。

全く様子が変わらなかつたら、決められなかったのではないかと思いました。



製作 あびこ不登校情報はらっぱ 有志

<https://abiko-futoukou.jimdofree.com/>

